

いたばしグリーンプラン 2035 の策定に向けた 子ども向けアンケート調査の実施結果

1 子ども向けアンケート調査の概要

- 区内在住の15歳以下を対象として、板橋区民まつり（10月19日（土）、20日（日））、板橋農業まつり（11月9日（土）、10日（日））の計4日間でイベントでの街頭における調査員による聞き取り方式にてアンケート調査を実施した。
- アンケートは全9問で構成されており、問1～問2が「みどり」に関する調査、問3～問8が「公園」に関する調査となっています。また問9は回答者についての質問となっています。
- アンケートの概要と子どもアンケート結果は以下の通りです。

子ども向けアンケート調査の概要

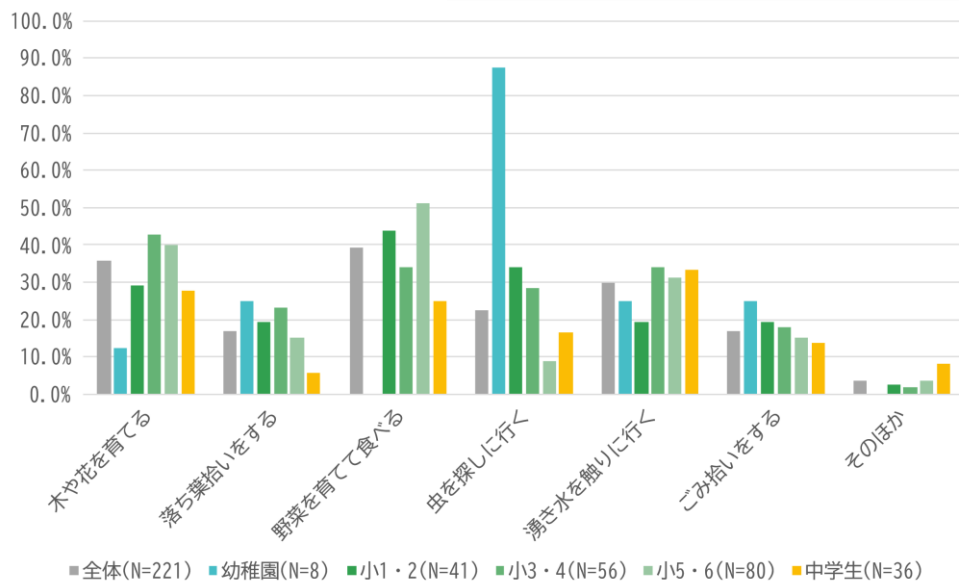
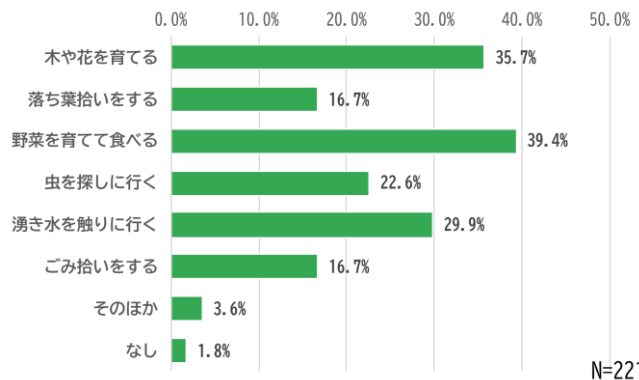
調査期間	令和6年10月19日・20日（板橋区民まつり） 11月9日・10日（板橋農業まつり）	
調査対象者	区内在住の15歳以下	
調査方法	調査員による聞き取り調査	
回収数	総合計 221 通回収	
	実施祭事、実施日	回収数
	板橋区民まつり（10月19日（土））	59 票
	板橋区民まつり（10月20日（日））	52 票
	板橋農業まつり（11月9日（土））	54 票
	板橋農業まつり（11月10日（日））	56 票
	合計	221 票

2 子ども向けアンケート調査の集計結果

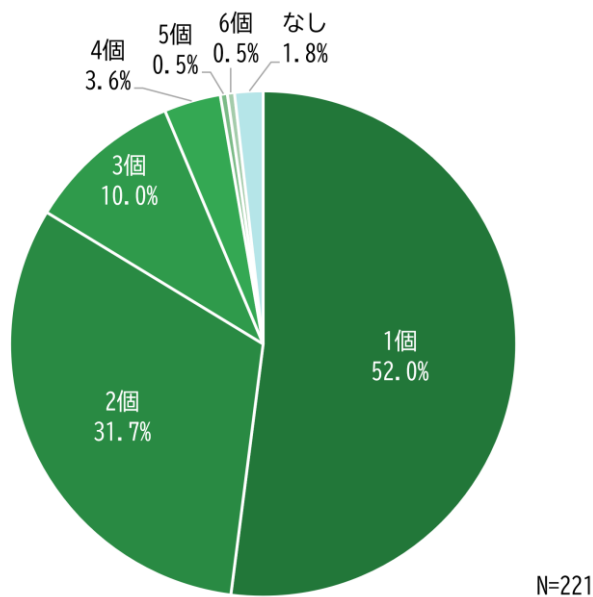
(1) みんなと一緒にやってみたいこと（複数回答）

「野菜を育てて食べる」ことや、「木や花を育てる」ことが全体の40%近くに上っている。

221人中217人から一緒にやってみたいことが合計364個の回答が得られた。やってみたいことの数の平均は一人あたり約1.7個となっている。



(やってみたいことの数)

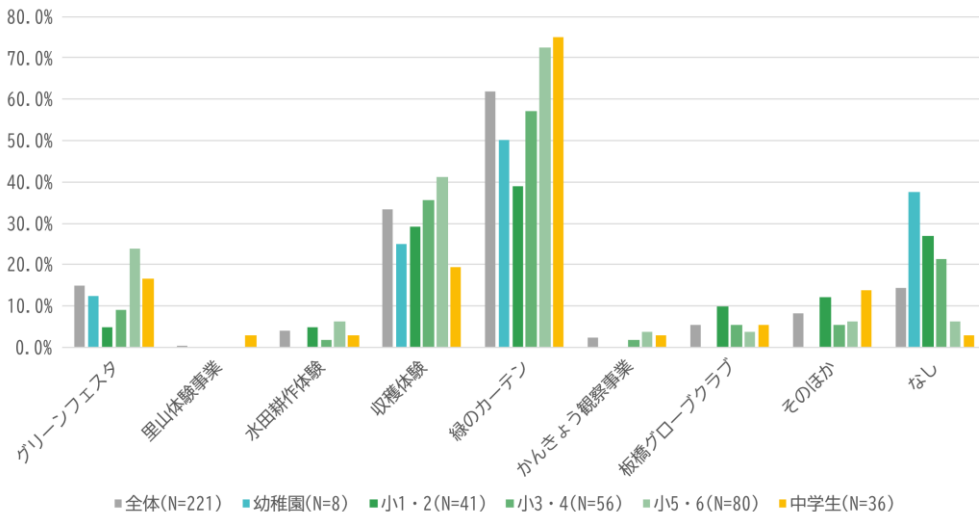
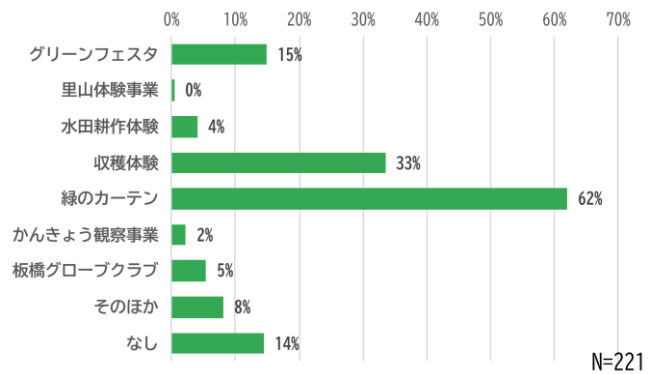


(2) 区の取り組みの認知度（複数回答）

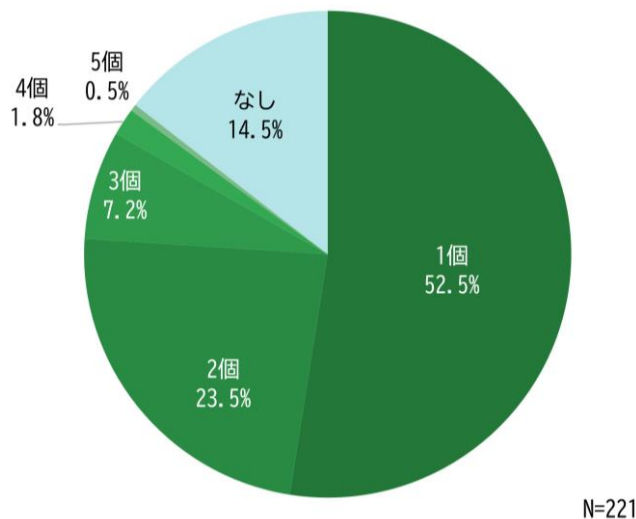
「緑のカーテン」は62%の子どもが知っています。学校で行っていることから、認知度が高いものと考えられる。次いで「収穫体験」が33%、「グリーンフェスタ」が15%と続いている。

体験したことのある取り組みで認知度がある一方、体験したことのない取り組みの認知度が低い傾向があります。知っているものがなかった子どもも14%（32人）存在した。

221人中189人から知っていることが合計289個の回答が得られた。知っている子どもたちの中での知っている取り組み数の平均値は一人当たり約1.5個となっている。



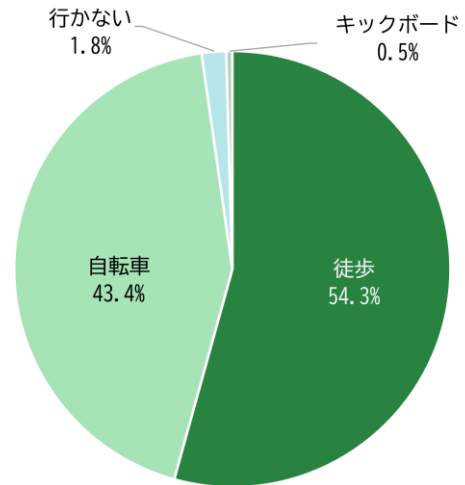
(知っている取り組みの数)



(3) 公園について

◆公園までの交通手段

交通手段では自転車よりも徒歩の方がやや多い結果となった。その他は5名おり、そのうち4名は公園で遊ばない人、1名はキックボードであった。

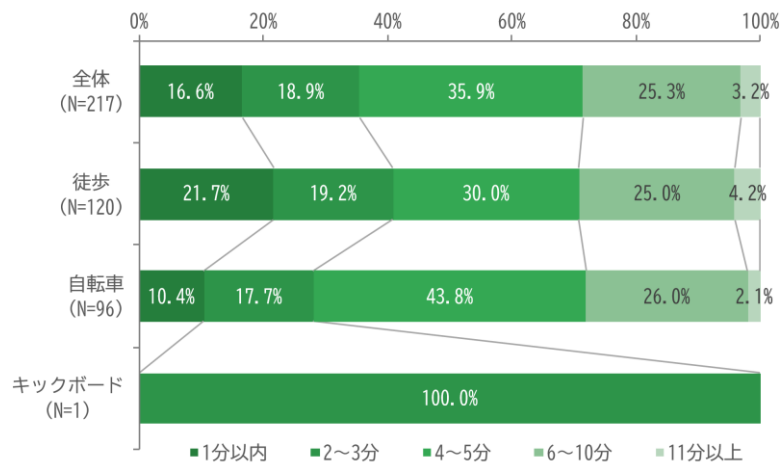


N=221

◆家からの公園までの移動時間

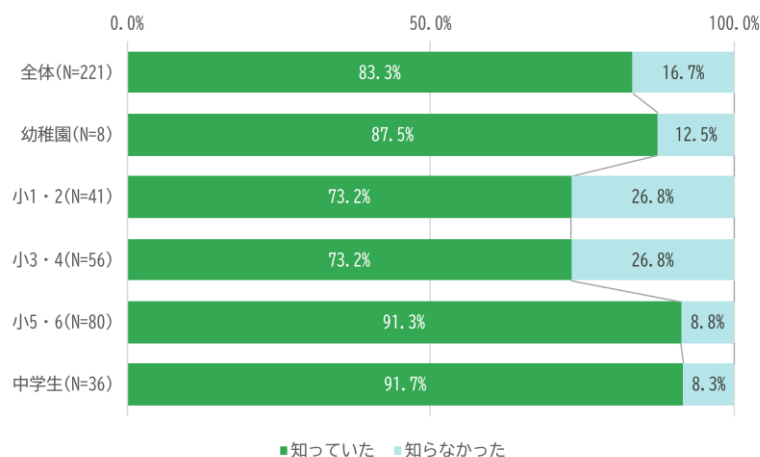
移動時間では3分以内、4～5分が36%で、5分以内が71%に上る。6～10分も25%おり、全体の97%が10分以内となっている。

交通手段別では自転車は徒歩と比べて、3分以内の割合が下がり、4～5分の割合が上がる。徒歩3分と自転車1分と同等と考えると、徒歩3分以上の距離になると、自転車を使う人が出始め、徒歩10分以上（自転車3.3分以上）になると、ほぼ自転車となると考えることができる。



◆公園で花火ができないことは知っていましたか？

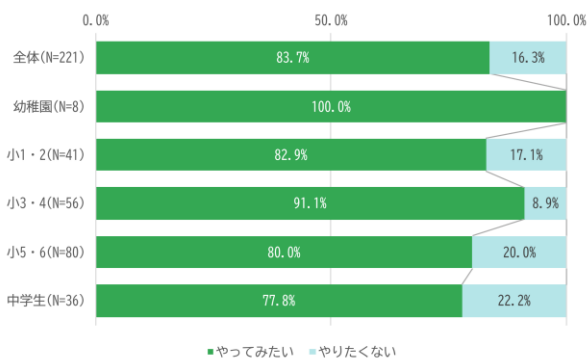
子どもたちの83%は花火が禁止されていることを知っている。



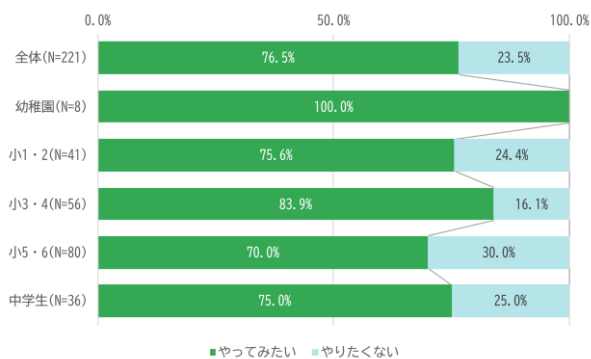
◆公園で花火ができるようにするための条件について

どのルールについても80%前後の子どもたちはやってみたいと回答している。このうち、夜8時までなら可という条件については、他の2つよりも賛同率が低くなる。

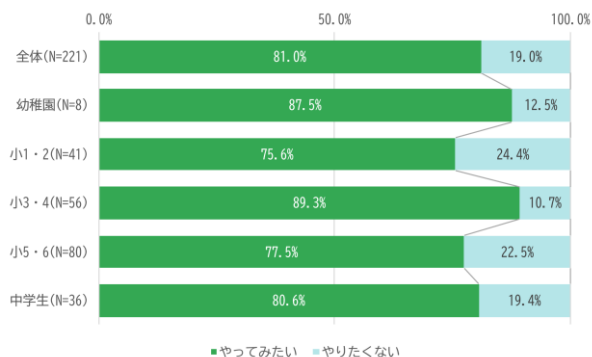
大人と一緒にやる条件



夜8時までなら可能という条件



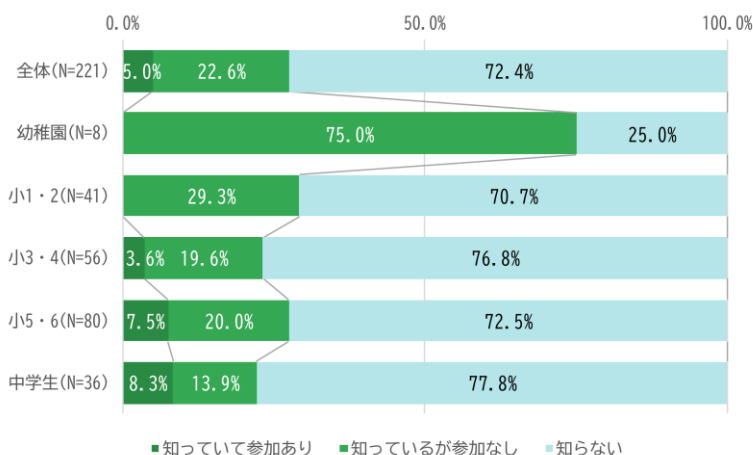
特定の日のみ可能という条件



◆東板橋公園と徳丸ヶ原公園の「こども動物クラブ」を知っていますか？

こども動物クラブの認知度は28%、そのうち参加したことのある子どもは5%となっており、参加したことのない子どもは23%となっている。

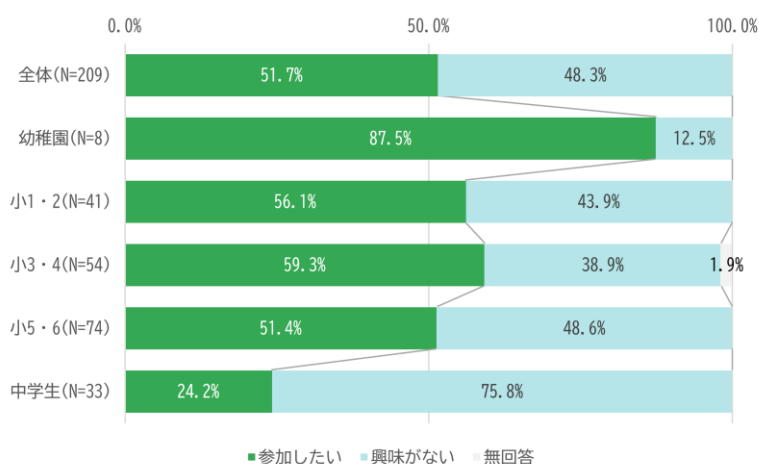
学年が上がるにつれて、参加したことのある子どもの割合が上がる。なお、こども動物クラブは小学校3年生から参加可能となっている。



◆こども動物クラブに参加してみたいと思いますか？

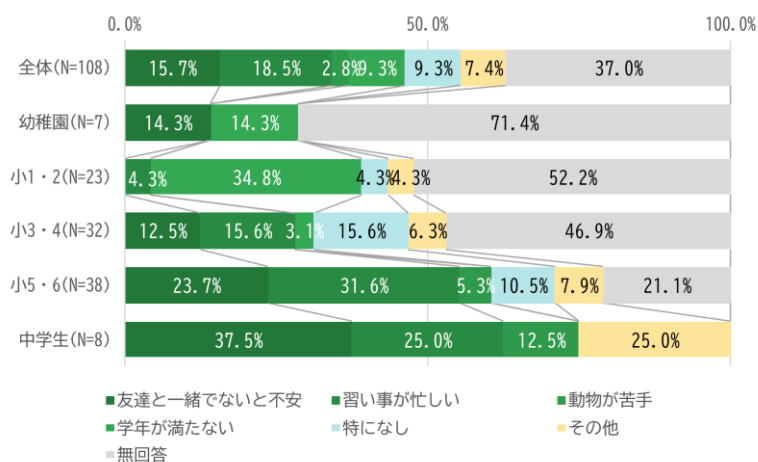
こども動物クラブに参加したことのない95%の子どもたちのうち、約半数は参加したいと回答していることから、こども動物クラブの知名度向上により参加者が増える可能性があるものと考えられる。

ただし、学年が上がるにつれて、参加意向の割合が下がる。



◆こども動物クラブに参加できない理由があったら教えてください。

「習い事が忙しい」が19%、「友達と一緒にないと不安」が16%となっています。一方、「特になし」と回答した人も9%に上っている。



(4) 回答者の学年

設問内容から小学校高学年と思しき子どもたちを中心に調査を行った。

その結果、小学生が 81%、中学生が 16%、幼稚園児が 3%となった。小学生では 5 年生、6 年生がそれぞれ 18%、19%と多く、小学 2～4 年生がそれぞれ 11～14%、小学 1 年生が 7%となった。

